

K-2 日本代表に 勝利

青木・富塚ペア

大会 4 日目に K-2 500m (カヤック 2 人乗り) 種目予選が行われ、K-1 1000m で優勝した青木士長と富塚士長が出場した。青木士長と富塚士長は、今月 1 日～3 日にハンガリーで行われた U-23 世界選手権に日本代表で出場し、そのまま大会 2 日前現地に入りし疲れが残った状態でのエントリーとなったが、予選・準決勝を余裕を持って 1 位通過した。



現日本代表に勝利した青木・富塚ペア

迎えた決勝は、K-2 500m 種目の現日本代表で活躍している三浦伊織選手 (鹿児島県スポーツ協会)、井上颯央選手 (香川県カヌー協会) ペアとの対戦に多くの視線が集まった。第 5 レーンからスタートを切った青木・富塚ペアは、息の合ったパドル操作で早々とスピードに乗せたが、第 3 レーンを進む現日本代表三浦・井上ペアもスタートから飛び出て 2 艇の勝負となった。互いにトップを譲らない状況だったが、ラスト 100m で三浦・井上ペアが青木・富塚ペアのペースに付いていけず失速した。青木・富塚ペアは持ち前のスピードをそのまま維持し、日本代表ペアに 2 秒以上の大差をつけ初優勝を飾り、K-2 種目での優勝は体育学校初の快挙である。

富塚士長は「ペアの練習をずっとやってきて、成果がしっかり出せたので良かった。」と語った。

C-1 準優勝

500m 藪 2 曹

大会 4 日目、C-1 500m (カナディアン一人乗り) 種目予選に出場した藪碧透 2 等陸曹は、力強いパドルでスタートから抜け出し、他の選手に圧倒的な差をつけ予選を突破した。

翌日の決勝は、予選 1 位の 3 名と準決勝を勝ち上がった 6 名の選手で行われた。藪 2 曹は、



来年こそ優勝を誓う藪 2 曹

この種目 2 回連続 2 位で今大会初優勝を目指し挑んだ。

迎えた決勝、隣のレーンにはこの種目で 3 連覇している永沼峻選手 (宮城県カヌー協会)。スタートから 2 人の戦いとなった。レースが動いたのはラスト 100m、一瞬の隙に永沼選手がスパートをかけ、藪 2 曹は追いつけず 2 位となった。

試合後藪 2 曹は、「500m・200m で優勝できるように、今回の結果を元にこれからの練習に取り組んでいきたい。」抱負をと語った。

監督の石川浩二 2 等陸尉は「今大会、練習してきた内容がしっかり試合に出せた上に良いレース展開で勝ってくれた。特に、若手の二人が 9 月上旬の海外レースから引き続き出場し強行スケジュールの中、現役の日本代表を抑えて優勝してくれたことが嬉しい。」と喜びを言葉にした。

今後、カヌー一班は 2024 パリ五輪への出場とメダル獲得実現のため、来年 3 月に香川県で行われる 2023 ナショナルチーム選考会を目標にさらなるレベルアップを目指す。

競技結果

階級	氏名	出身地	種目	1 人乗り			2 人乗り
				1000m	500m	200m	500m
2 等陸曹	佐藤 光	佐賀県	カナディアン	優勝			
2 等陸曹	藪 碧透	北海道	カナディアン		2 位	4 位	
陸士長	富塚 晴之	和歌山県	カヤック			6 位	優勝
陸士長	青木 瑞樹	福島県	カヤック	優勝	4 位		優勝



今年度の日本選手権で大きな成果を残したカヌー一班

CANOE SPRINT 用語説明



カヤック：両漕ぎ
K-1：カヤック 1 人乗り
K-2：カヤック 2 人乗り



カナディアン：片漕ぎ
C-1：カヤック 1 人乗り

